

第30期目録委員会記録 No.8

第8回委員会

日時：2005年12月17日（土）14時～16時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：永田委員長，白石，鈴木，原井，平田，古川，増井

<事務局>磯部

[配付資料]

- 1．平成17年度書誌調整連絡会議の終了について（2ページ-A4，原井委員）
- 2．MODSについて（3ページ-A4，平田委員）
- 3．NDLにおけるJAPAN/MARCのXML化への取組み（1枚，4ページ-A4，鈴木委員）
- 4．FRAR Worldwide review について：FRBR メーリングリストでの遣り取り（5ページ-A4，横山委員）
- 5．RDA：Resource Description and Access Part I – Constituency Review of December 2005 Draft（180ページ-A4，JSCホームページよりプリントアウト，事務局）
- 6．第30期第8回目録委員会記録（2ページ-A4，事務局）

[報告・連絡事項]

- 1．平成17年度書誌調整連絡会議

国会図書館が11月17日に開催した書誌調整連絡会議について、原井委員から、資料1に基づき報告があった。今回は、特定のテーマを設けず、書誌データ及び書誌調整について、国会図書館及び国内外の現状・課題を提示し、意見交換を行ったものである。内容は下記のようである。

- ・ 国立国会図書館、日本図書館協会の目録・分類・件名標目の3委員会及びNIIからの報告があった。
- ・ IFLAオスロ大会、韓国国立中央図書館シンポジウム出席者の報告があった。
- ・ 報告者のほか、民間MARC作成機関、公共図書館、大学図書館からも参加があった。
- ・ コメントとして、上田修一教授（慶応義塾大学）から、個人情報と目録の結びつきの意外性、NACSIS-CATの品質低下に関わる問題点等の指摘があった。
- ・ 宮沢彰教授（NII）からは書誌調整の概念が書誌ユーティリティや民間MARCの普及により標準化に成功した反面、優秀な目録作成者が少なくなったこと等の指摘があった。
- ・ 出席者から、データ移行の際、データの使用に関する知識の不足がデータの劣化につながること、また、図書館をめぐる厳しい状況の中で人員の確保が困難である等の問題があげられた。

2．第4回IME-ICCに参加すべき団体に関する問い合わせについて

来年ソウルで開催される第4回IME-ICCについて、韓国国立中央図書館の担当者から、“major research libraries”として参加すべき団体について横山委員に問い合わせがあったことが報告された。

[検討事項]

1．MODSについて

平田委員より、資料2に基づき前回委員会での解説を補う説明がなされ、下記のような討議があった。

- ・ NAMEエレメントが表すのは、標目と責任表示の両方を兼ねたものであるとの説明があったが、著者標目ととらえたほうがよいとの指摘があり、再調査することとなった。
- ・ NAMEへのマッピングに際して標目を用い、転記データは注記するというような、図書館でもつ枠組みの中での取捨選択が今後問題となる。
- ・ 今後の目録が記述中心から標目中心へ移行する傾向を既に示している。図書館では資料上に記載されるタイトル等を重視するが、メタデータではわかりやすいことが重要であり、記述に固執しない。
- ・ 目録規則は、コーディングと規則の部分を使い分け始めているが、どのレベルまでを規則として取り込むかの検討が必要である。

2．NDLにおけるJAPAN/MARCのXML化への取組みについて

鈴木委員より、国会図書館におけるデジタル・アーカイブ・ポータルにおけるXML化の状況について資料3に基づき説明があり、下記のような討議があった。

- ・ 目録規則とMARCの違い、MARCXMLとMODSの違いを知ること、目録とシンタクスとの関わりを導き出すことができる。
- ・ ダブリンコアやMODSでつくったシステムが利用者に及ぼす影響、それらがどのように使われるか等の問題点を明らかにする利用者研究が必要である。

3．RDAについて

古川委員より、メーリングリストで既報のとおり、JSCのホームページに12日付けで資料5のRDA第一部草案（Chapter3は2006.1公開予定）が公開されたことが紹介された。

次回委員会から前案やAACR2との構成の変化や問題点等について検討することとなった。1月の委員会では、原井委員による全体の枠組み（見出し）の検討に続けて、Chapter 0-1については古川、Chapter 2を鈴木各委員の分担とした。また、2月の委員会でChapter 3以降を扱うこととした。

次回の委員会の予定

1月28日（土）

以上